

12月26日に帰国し、日本でこの報告書を書いています。日本食のおいしさ、日本の清潔さを堪能しているところです。今回は12月の出来事+これまで留学を通して学んだことなどを書いていこうと思います。

12月は一瞬で過ぎ去っていきました。ほとんど期末試験と帰国の準備のことしか記憶にありません…。しかし、写真フォルダを見返してみると、意外にも様々なところに出かけており、これも12月の出来事だったのかと驚きました。楽しい時間はあっという間に過ぎていきますが、振り返ると楽しい思い出でいっぱいです。こうして、充実した留学生活を送ることができたのは、私に関わってくださった方々のおかげです。「いつまで脛をかじられるんだ～」とぼやきながらも1年の休学を了承し、5年生での留学をさせてくれた両親に感謝します。お金の面だけでなく、メンタル面でも支えてもらいました。また、台湾で共に過ごした友人たちにも感謝しています。1年という短い間でしたが、一緒に授業を受けたり、ご飯を食べに行ったりしたことは忘れがたい思い出です。特に、文芸大から一緒に台湾留学に行った後輩たちに支えられました。たくさんの思い出をありがとう！！台湾でであった友人たちとは帰国後バラバラになってしまいましたが、こらからも連絡を取り合ってお互いの住んでいるところに行ける仲でいたいです。さらに、台湾の先生方や日本にいる先生方、職員の方にも大変お世話になりました。様々な人のサポートがあったからこそ、充実した留学生活を送ることができました。心から感謝申し上げます。

帰国後は大学を卒業し、4月から社会人がスタートします。就職先は中国語を活かせる仕事ではないですが、これから先留学で培ったことを活かせる日が来ると思います。また、今度は留学ではなく、仕事で台湾に来れるように、更に中国語の勉強を続けていくつもりです。

留学に行くか迷っている人に向けて

この報告書を読んでくださっている方の中には、これから留学を考えている方もいるかと思います。その方々に向けて言えることは「行くか行かないか迷っているなら行こう」です。金銭面など行けない理由は様々だと思います。私も一度留学を諦めようと思いました。私は本来なら2年生の夏に留学に行く予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で留学は中止になりました。更に3年生の夏も中止になりました。気づけば4年生になり、周りは就活を始めました。私も留学のために休学するか、諦めて就活をするか決断しなければなりません。4年で卒業しようと考えていたため、1度は就活をしましたが、やはり諦めきれず、休学して留学に行くことに決めました。当時は、ビザの発給を中止しており確実に行けるか分からないということもあり、将来が見えない不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、帰国した今は、あの時諦めなくてよかったと思います。語学力の向上はもちろんあります。また、自分の常識と異なる環境に行くことで、自分の考え方に変化が出て世界が広がりました。留学で卒論を書いたこと、インターンをしたことが、私の成長の糧になりました。20代前半だからこそ経験できることがあります。留学してみたいと思っているけど迷っている方は、一步踏み出して留学してみたいです。

台湾生活

○期末試験

帰国直前の 12/18～12/22 期末テストでした。期末テストがあるかどうかは、先生が決めますが、どれもしっかり復習が必要です。私は、卒論を書くために、授業を 3 つにし、負担を減らしました。それでも、復習に時間がかかったので、たくさん履修する人は注意が必要です。

・読寫訓練：2 課ごとにある小テストが期末テストがわりでした。難易度は復習すれば問題ないくらいでした。

・聴力：リスニングの問題が 30 問ほど出ました。先生が作成した問題なので、復習は必要ありませんが、日々の授業をしっかり受ける必要があります。

・飲食文化：ペーパーテストでした。先生が作成した復習用のプリントから出題されません。覚えることが多く復習の時間を使いました。

○帰国の準備

退寮日が 25 日だったため、期末テストが終わった直後に荷造りをはじめました。私は 25 日に退寮し、桃園で一泊し、26 日の早朝の飛行機で帰国しました。予想通り、帰国はバタバタでした。大変だったポイントをまとめていきます。

- ① 1 年分ため込んだ物が多すぎる。スーツケースに入らない物は容赦なく、捨ててきました。宿舎の 1 階にリサイクル品置き場が設置されたので、捨てずに他の人に譲ることができて良かったです。
- ② 捨てきれなかった物が多く、退寮日に郵便局に行き、荷物を日本に送りました。もっと早くにやっておけば、時間にゆとりができたのに…。
- ③ 離校手続きをしていなかった…。これも退寮日当日に手続きをしたためバタバタしてしまいました。

以上が私の帰国に際してのバタバタエピソードです。もっと準備をきちんとしておけばよかったと後悔しました。ただ、飛行機には予定通り乗れてよかったです。

台湾の愛する物たち



語学力

中国語を日常的に触れる環境にすることで、語彙が増えました。また、毎日の授業でライティングやリーディングを鍛えることができました。さらに、ネイティブと会話を通してリスニングやスピーキングが向上しました。日本にいるときより確実に成長スピードが早かったです。

自己管理

人生で初めて実家から出ました。これまで、親が食事作った栄養ある食事を食べていました。しかし、留学に来て食事を抜いたり、野菜を食べなかったりしたため、体重が減少し体調を崩すことが多くなりました。恥ずかしながら、後半ようやく自己管理を覚え、健康的に生活できるようになりました。

メンタルが 強くなった

中国語を聞き取れないことや、言いたいことが伝わらないことで悔しい思いをしました。また、人間関係や卒論、就活などで悩むことが多々ありました。これらの経験を通じて、「上手いかななくてもどうにかなるよ！！だってしょうがない？」と思えるようになりました。開き直り、ポジティブに考えることも大切であると学びました。

強みと弱みを 知った

留学は自分自身と向き合うことであると思います。実際、非日常的な出来事が多いので、そのことを通して得手不得手を知る機会になりました。私の強みは、人と仲良くなることができることです。しかし、逆に、一人で行動することが苦手であることに気が付きました。もっと一人でも気軽に様々なところに行けたら留学生活が充実していたのかなと反省しています。

反省点

- ・後半、ネイティブと交流する時間が取れず、中国語の成長が伸び悩みました。もっと、積極的に話しかければよかったと後悔しています。
- ・もっと旅行に出かければよかったです。金欠や卒論執筆を理由にして、友人の誘いを断ってしまいました。無理してでも時間を作って、様々な物を体験したかったです。もっとフツ軽にならなければいけないと反省しました。

自分の中では不完全燃焼な部分も多いですが、就活、卒論、インターンシップなど目標としていたことが達成できました！！